



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名 福井コンピュータ株式会社  
 コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小林 徳也  
 (氏名) 林 治克

TEL 0776-53-9200

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,417	9.5	335	57.1	361	53.4	196	73.9
23年3月期第2四半期	3,120	△2.0	213	△17.5	235	△17.6	112	△12.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 177百万円 (101.4%) 23年3月期第2四半期 87百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	17.08	—
23年3月期第2四半期	9.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,967	5,782	72.3
23年3月期	7,929	5,720	71.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,763百万円 23年3月期 5,694百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,054	6.9	705	10.8	735	10.7	417	44.6	36.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	11,500,000 株	23年3月期	11,500,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	11,831 株	23年3月期	11,831 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	11,488,169 株	23年3月期2Q	11,488,169 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、供給網の復旧が進み、東日本大震災で落ち込んだ経済活動は正常化してきましたが、円高や海外経済の減速懸念など先行きが不透明な状況となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,417百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益335百万円（前年同期比57.1%増）、経常利益361百万円（前年同期比53.4%増）、四半期純利益196百万円（前年同期比73.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建設業系CAD事業

建築CADソフトウェア

前年と比較して7月以降の住宅着工件数が増加となり、加えて地震に強い住宅、創エネのニーズが高まる中で、既存顧客に対して、太陽光発電、オール電化などのコストや効果のシミュレーションを可能としました主力製品「ARCHITREND Z」のオプションプログラム販売が堅調に推移しました。また、住宅関連向けクラウドサービス、BIM建築設計システム「GLOOBE」などの売上高が着実に増加するとともに、大口受託開発の売上高が加わりました。この結果、建築CADソフトウェアの売上高は1,814百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

測量CADソフトウェア

測量の主力製品であります「BLUETREND XA2012」を6月に発売し、土地家屋調査士業向けに14条地図（不動産登記法14条1項で定める正確な地図）作成業務への対応、測量業向けには準則改正に伴う各帳票類への対応等の測量設計業務を支援するプロモーションを実施しました。この結果、測量CADソフトウェアの売上高は731百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

土木CADソフトウェア

公共工事における総合評価落札方式の普及促進に伴い、土木施工業向けに主力商品の「EX-TREND 武蔵2011」を活用した工事成績向上を支援するプロモーションを実施しましたが、東日本大震災の影響による公共事業の発注遅れもあり、新規売上が減少しました。この結果、土木CADソフトウェアの売上高は481百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

これらの要因により売上高3,341百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は546百万円（前年同期比29.4%増）となりました。

②ITソリューション事業

報道機関向け出口調査システム「ワンクリックカウンタ」につきましては、全国の新聞社、テレビ局に継続的に提案を図るとともに、学会発表を通じて知名度の向上を図りました。4月に行なわれた統一地方選においては全国的に幅広く受注したものの、東日本大震災の影響で選挙の延期や出口調査の中止が相次ぎました。また、インターネット宿泊予約システムにつきましては、大手ポータルサイトへの対抗手段としてロコミサイトとの提携を進めたものの、売上が伸びるまでにはいたりませんでした。この結果、ITソリューション事業の売上高は75百万円（前年同期比33.4%減）、営業利益は11百万円（前年同期比56.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、7,967百万円となり、前連結会計年度末より38百万円増加しました。

また、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末より390百万円増加し1,863百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、599百万円（前年同期は382百万円の獲得）となっております。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益338百万円、売上債権280百万円の減少、減価償却費113百万円の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、93百万円（前年同期は55百万円の使用）となっております。主な要因としては、有形固定資産の取得による支出37百万円及び事業譲受による支出24百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、115百万円（前年同期は114百万円の使用）となっており、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,124	2,508
受取手形及び売掛金	1,410	1,129
商品及び製品	23	16
仕掛品	18	16
原材料及び貯蔵品	30	30
繰延税金資産	168	128
その他	67	76
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	3,835	3,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,806	1,764
土地	1,147	1,123
その他(純額)	67	69
有形固定資産合計	3,021	2,957
無形固定資産		
のれん	22	37
その他	77	101
無形固定資産合計	100	138
投資その他の資産		
投資有価証券	582	566
繰延税金資産	53	67
その他	349	349
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	971	970
固定資産合計	4,093	4,066
資産合計	7,929	7,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43	38
未払法人税等	183	127
前受金	1,176	1,311
賞与引当金	173	162
役員賞与引当金	20	10
その他	546	469
流動負債合計	2,144	2,119
固定負債		
長期未払金	43	43
その他	21	22
固定負債合計	65	65
負債合計	2,209	2,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	2,020	2,101
自己株式	△5	△5
株主資本合計	5,742	5,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48	△60
その他の包括利益累計額合計	△48	△60
少数株主持分	25	19
純資産合計	5,720	5,782
負債純資産合計	7,929	7,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	3,120	3,417
売上原価	546	656
売上総利益	2,573	2,760
販売費及び一般管理費	2,359	2,424
営業利益	213	335
営業外収益		
受取手数料	5	6
投資事業組合運用益	4	6
償却債権取立益	—	10
その他	14	4
営業外収益合計	24	27
営業外費用		
持分法による投資損失	—	1
その他	2	0
営業外費用合計	2	1
経常利益	235	361
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
有価証券評価損	20	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24	—
減損損失	—	23
その他	14	—
特別損失合計	59	23
税金等調整前四半期純利益	178	338
法人税、住民税及び事業税	27	113
法人税等調整額	37	34
法人税等合計	64	148
少数株主損益調整前四半期純利益	114	189
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△6
四半期純利益	112	196

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	114	189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△12
その他の包括利益合計	△26	△12
四半期包括利益	87	177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86	183
少数株主に係る四半期包括利益	1	△6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	178	338
減価償却費	97	113
減損損失	—	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24	—
有価証券評価損益 (△は益)	20	—
売上債権の増減額 (△は増加)	291	280
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7	8
前受金の増減額 (△は減少)	137	106
その他	△239	△89
小計	490	761
利息及び配当金の受取額	8	6
法人税等の支払額	△116	△169
営業活動によるキャッシュ・フロー	382	599
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△451	△486
定期預金の払戻による収入	420	492
有形固定資産の取得による支出	△29	△37
無形固定資産の取得による支出	△44	△18
投資有価証券の取得による支出	—	△7
投資有価証券の売却による収入	8	8
事業譲受による支出	—	△24
その他	41	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△114	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114	△115
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	212	390
現金及び現金同等物の期首残高	1,189	1,473
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,402	1,863

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,007	113	3,120	—	3,120
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,007	113	3,120	—	3,120
セグメント利益	422	25	447	△234	213

- (注) 1. セグメント利益の調整額△234百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,341	75	3,417	—	3,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,341	75	3,417	—	3,417
セグメント利益	546	11	557	△221	335

- (注) 1. セグメント利益の調整額△221百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

「建設業系CAD事業」において、遊休土地の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては23百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。